

新年明けましておめでとう  
ございます。

鬼北町民の皆さまにおかれ  
ましては、お元気で輝かしい  
新春をお迎えのことと心より  
お慶び申し上げます。

新年にあたりまして、鬼北  
町議会を代表して謹んで新年  
のご挨拶を申し上げます。ま  
ず、これまでの皆さまの温か  
いご支援を心より感謝申し上  
げますとともに、今後ともよ  
ろしくご指導賜りますようお  
願い申し上げます。

さて、昨年は日本国中が新  
型コロナウイルスと戦った一  
年でした。その中で、鬼北町  
の住民からは一人の感染者も  
出さず、今日まで参りました  
ことは、ひとえに皆さまのご  
協力の賜物であると感謝申し  
上げます。

また、コロナ禍の中、いち  
早く町民の窮状に対し、町独  
自の支援策を含め、その対応  
に誠心誠意あたられました町  
長はじめ職員の皆さまや鬼北  
町商工会の皆さまのご苦勞に  
心から敬意を表します。

鬼北町議会としましては、  
住民の皆さまの切実な声が  
日々大きくなる中で、議員全  
員協議会を町長はじめ各担当  
課長等の出席のもと開催し、

現状や対応方針について説明を  
求め、協議をさせていただき、  
「要望書」として、皆さまの声

を町長に届けさせていただきま  
した。また、議会での一般質問  
として支援策の改善を提案し、

その実行をみました。その間の  
行政側の真摯な対応にも、あら  
ためまして心から感謝申し上げ  
ます。過疎化に苦しむ地方にお  
いて、コロナ禍で地方移住が進  
むのではないかとこの期待もあ  
り、行政側でもワーケーション  
の推進やサテライトオフィスの  
誘致などの新たな施策に取り組  
んでいるところであります。

あらためて私たちが暮らす  
「地域」とは何か。  
『都市は企業活動の場である  
と同時に人々が生活する場所  
だ。都市には、「人・もの・情  
報・資本」の集積によって新し  
い文化をつくる力がある。都市  
にはその歴史の歩みが刻まれて  
いる。ただし、その母体は農山  
漁村。農山漁村は、水・エネル  
ギー・食料の供給だけでなく「力  
を合わせてひたむきに仕事をす  
る美しさ」「自然と折り合って  
生活する豊かさ」「共同体の中  
で暮らす幸せ」を都市に教える。  
貨幣的豊かさとは利便性の追求の  
過程で見失う「自然と人間・個  
人と共同体・歴史や風土や共同

体」を考えさせる場である。も  
う一度足元を見つめる必要があ  
る。「維持可能な社会と国土」  
を作るなら、農山漁村にとって  
都市が必要であると同時に、都  
市にとっても農山漁村は「次の  
時代の文化と思想」を形成する  
うえで不可欠な存在になる。農  
山漁村を安易に切り捨てれば、  
都市も「自然・人間・共同体・  
歴史」の意味を失って文化を生  
む力を弱めて衰退する。』（町村  
議会議長全国研修会資料より）  
人口減少と高齢化社会現実の  
中に生きる私たちがなすべきこ  
とは、今を精一杯生きること。  
そして、先人が守り育ててきた  
この誇りある、美しい地域を次  
世代に引き継ぐこと。

鬼北町議会では、町民の皆さ  
まとの意見交換会を開催し、思  
いに寄り添った活動ができてま  
す。本年は鬼北町長、議会議員  
選挙および衆議院議員選挙の年  
であります。皆さまの清き一票  
を町政、国政に届けていただき  
ますようお願い申し上げます。

結びになりますが、町民の皆  
さまにとりまして、幸せな一年  
となりますよう、ご祈念申し上  
げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

鬼北町議会議長  
渡邊 眞次

年頭の

変わる日常、ふるさ